

※取り付ける前に必ず本製品の動作確認およびスマートフォン/携帯電話等との接続動作確認をしてください。取付方法の図・Bを参照し、アクセサリソケットにカーブラグ部を差し込んでください。通電モニターランプ(図8)が点灯します。通電確認後、スマートフォン/携帯電話等との接続動作確認をし、エンジンを切り、取り付けを開始してください。

※本製品および接続する電装品の取り付け・取りはずし・操作は、必ず安全な場所に停車して行なってください。取付作業は常温下で行なってください。炎天下や極端な低温時には行なわないでください。  
※本取扱説明書では、分かりやすいように助手席側から見た図で解説しています。

## 車両への取付・取りはずし方法

### 取付方法

1 本製品のトレイ部を持ち上げ、トレイ部を取りはずします。(図1)

2 本製品をフロントコンソール内の小物入れにあてがい、取付場所を確認してください。(図4)

**注意** コードをコード迷入部から逃がし、取付場所を確認してください。(図2)

3 取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。

4 本製品裏側にある両面テープ剥離紙をはがし(図3)、小物入れの底面に両面テープの接着面が付くように、一度でしっかりと貼り付けます(図4)。コードをフロントコンソールと本体の間に挟まないよう注意してください。(図2)

**注意** コードを無理に引っ張ったり、挟まて断線しないよう取り付けてください。  
取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。汚れた面に貼り付けるとはがれの原因となります。  
両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたらしないよう注意してください。粘着力が弱くなり、はがれの原因となります。  
両面テープの貼り直しはおやめください。はがれの原因となります。  
両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは強い力を加えたり、本製品を使用することはおやめください。はがれの原因となります。  
本製品を取りはずす際は、内装を損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のメタノール剤を使用してください。  
取付部分が多少変色したり、取付跡が残ったりする場合があります。

5 車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、アクセサリソケット内をよく掃除してください。

**注意** 車のアクセサリソケット内が汚れていると、通電不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を差し込んでください。

6 カーブラグ部をアクセサリソケットの奥までしっかりと差し込み、カーブラグ部のツメが本体にカチッとまるまで押さえて取り付けます。アクセサリソケットのフタがかぶります。(図5)

**注意** 確実に差し込まれていないと接触不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

7 ヒューズBOXと余ったコードを本体溝部に入れます。(図6)

**注意** ヒューズBOXと余ったコードは必ず本体溝部に入れてください。トレイ部が入らなくなります。

8 コードを挟まないように注意しながら取りはずしたトレイ部を元に戻します。(図1)

9 車のエンジンをかけ、通電モニターランプ(図8)が点灯していることを確認してください。

## カーブラグ部の取りはずし方法

カーブラグ部をアクセサリソケットから抜く際は、本体からカーブラグ部のツメをはずした後(図5)、カーブラグ部をつまみ、徐々に抜いてください。(図7)

**注意** コードを引っ張ってカーブラグ部を抜かないでください。  
取りはずす際、カーブラグ部が熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

## ソケット部について

### ソケット部の使用方法

本製品のソケット部に電装品等のカーブラグを差し込んで使用します。(図8)

**注意** 電装品等のカーブラグを差し込む前に、車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、ソケット部内側をよく掃除してください。汚れていると、発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。  
ソケット部に電装品等を接続している時に本製品のソケット部用通電モニターランプが消えた場合は、直ちにソケット部から電装品等のカーブラグを抜いてください。電装品等のカーブラグを抜いた後にソケット部用通電モニターランプが再度点灯した時は、本製品のヒューズ切れや故障ではなく、電装品等のショートや故障等が発生している場合があります。  
急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル時や、急カーブ・悪路・段差の激しい路上の走行等により、カーブラグとソケット部がゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。使用前にカーブラグがソケット部の奥まで差し込まれているか確認してください。

### 電装品等の取りはずし方法

本体を押さえながら電装品等のカーブラグをしっかりと持ち、徐々に抜いてください。(図8)

**注意** 本体を押さえずに電装品等のカーブラグのみを抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。取りはずす際、カーブラグが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

## USB充電について

USBポートはAP側、AN側の2口があります。それぞれ用途に合わせて選んでください。



USBポート	AP側	iPhone・iPad等
	AN側	スマートフォン・タブレット 携帯電話等



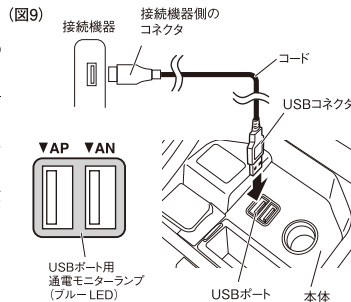
電装品等のカーブラグ ソケット部用通電モニターランプ(ブルーLED)

### 接続機器の使用法

安全に使用するために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートへ接続します。(図9)

※USBコネクタには差し込む向きがあります。無理矢理差し込まず、コネクタの向きを合わせて差し込んでください。

**注意** USBポートに接続機器を接続している時に本製品のUSBポート用通電モニターランプが消えた場合は、そのまま使用せず、直ちにUSBコネクタを抜いてください。接続機器のショート・故障等の発生による内蔵ヒューズ切れや、最大許容出力電流を超えている可能性があります。  
USBコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。無理に差し込んだり、引き抜いたり、傾ける等の差し込み不良があるとメモリーデータ破損・消失や故障の原因となります。  
接続機器を接続したままエンジンをかけたり、切ったりしないでください。



### 接続機器の取りはずし方法

安全に取りはずすために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートから抜いてください。(図9)

※接続機器によっては、充電中に電源をOFFにできない機種があります。

※USBポートは接触不良防止のため、固めの設計になっています。USBコネクタを抜く際は、コードを保持したずにUSBコネクタを持ち、本体を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ抜いてください。(図9)

**注意** 本体を押さえずに接続機器のUSBコネクタのみを抜くと、本製品・接続機器破損の原因となります。取りはずす際、USBコネクタが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

### USBで給電・充電する際の注意

●連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まったり(USBポート用通電モニターランプが消える)、断続的な動作になる(USBポート用通電モニターランプが点滅する)場合がありますが、回路を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一旦接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。●一部の機種では電池残量がゼロの状態では充電ができない場合があります。●純正の充電器(家庭用AC)で5〜10分程度充電してから使用してください。●充電時間および充電後の使用時間は、機種・電池パックの種類・状態・使用環境によって異なります。●充電中に接続機器を使用すると充電時間が長くなります。●機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示しない・変化しない・満充電にならない場合があります。●本製品の連続使用は2時間までにしてください。充電される接続機器の電池パック寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBコードの抜き忘れによる接続機器の破損等の原因となります。●接続機器の充電完了表示に関する接続機器に付属されている取扱説明書を確認してください。●接続機器の電池パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池パックへの交換をおすすめします。●30分以下の長時間の充電では電池表示レベルが上がらない場合があります。●本製品・接続機器・電池パックが高熱になった場合や発煙・ショートがあった場合には直ちに使用をおやめください。

### 警告 ご使用前に必ずお読みください。

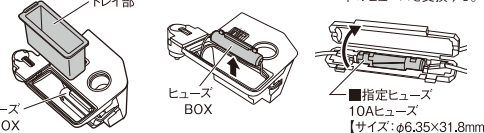
●運転操作やエアバッグ等の作動に支障のないように使用してください。  
●異臭・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をおやめください。  
●タバコの火等、火気を近づけないでください。火災の原因となります。  
●走行中、運転者は本製品の操作および電装品・接続機器等の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

### 注意 ご使用前に必ずお読みください。

●用途以外の目的で使用しないでください。  
●本製品に強い衝撃を与えないでください。  
●確実な衝撃を確保するために、必ずカーブラグ部を車のアクセサリソケットに奥まで差し込んでください。使用する電装品・接続機器等のカーブラグもソケット部の奥まで確実に差し込んでください。また、乗車の度に奥まで差し込まれているか確認をしてください。不確実な場合は、発熱や発火等のおそれがあり大変危険です。  
●本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。  
●本製品の脱着、および本製品のソケット部内側の掃除の際は、必ずアクセサリソケットに通電していない状態で行なってください。  
●本製品のUSBポートやソケット部に、電装品・接続機器等のカーブラグやUSBコネクタ以外の物(指・金属片等)を差し込まないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。  
●本製品は使用により、本体・USBポート・ソケット部に傷が付く場合があります。  
●直射日光が当たる場所や、車内温度が0℃以下・40℃以上の時は使用しないでください。結露や熱による誤作動や故障、本体の溶解の原因となるおそれがあります。  
●通電モニターランプの光を直射したり、運転者や車外に光を向けたりしないでください。事故の原因となります。  
●濡れた手で操作や水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。  
●カーブラグ部をアクセサリソケットに差し込んだまま回転させないでください。アクセサリソケットやカーブラグ部が破損する場合があります。  
●コードに負荷をかける・根元を回す・引っ張る・束ねる・重いものをのせる・強く押す等の行為をしないでください。影響・断線の原因となります。  
●心臓ペースメーカーや医療機器等を使用している近くでは、本製品の使用により動作に影響を与えるおそれがあります。  
●本製品使用により重載機器に電圧障害やノイズが発生する場合があります。  
●本製品の取付時や使用時に生じた事故・破損・故障については当社は一切の責任を負いかねます。  
●ソケット側のヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、発熱・発火等の原因となります。ヒューズはヒューズBOXの中に入っています。交換方法は下記を参照してください。(図10)  
●USB側のヒューズ(内蔵)は3Aです。ヒューズが切れるとUSBポートは使用できなくなります。本製品のUSBポート用通電モニターランプが点灯しない状態。なお、ヒューズは交換できません。ヒューズが切れた場合は、新しい商品をお買い求めください。  
●砂利道等の振動が多い場所やホコリ・埃気の多い場所では使用しないでください。  
●本製品の誤った使用・取付けや、分解・改造等は絶対におやめください。破損・故障・感電・ショートの原因となります。そのような場合による電装品・接続機器等の破損・故障・損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

### 【ヒューズの交換方法】

(図10) ①トレイ部ははずす ②ヒューズBOXを取り出す ③ヒューズBOXを開け、中のヒューズを交換する。 ④ヒューズBOXとコードを元の位置に戻し、トレイ部を戻す。



**YAC 株式会社**  
〒444-8616 愛知県岡崎市日西町3番地  
TEL 0564-24-2421 FAX 0564-24-2827  
URL <http://www.yacjp.co.jp>

商品に関するお問い合わせは...  
お客様相談室 0564-66-0773(直通)  
受付時間:月~金(祝祭日除く) 9:30~17:30